

学校法人 東京聖徳学園

# 聖徳フラッシュ

聖徳フラッシュ  
第55号  
平成23年8月1日  
発行  
学校法人 東京聖徳学園  
〒108-0073 東京都港区三田3-4-28  
TEL.03-5476-8811(代)

聖徳学園ホームページ  
<http://www.seitoku.jp/>

- 聖徳大学大学院
- 聖徳大学
- 聖徳大学短期大学部
- 聖徳大学幼児教育専門学校
- 聖徳大学附属女子高等学校
- 聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校
- 聖徳大学附属女子中学校
- 聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学附属第三幼稚園
- 聖徳大学附属浦安幼稚園
- 聖徳学園三田幼稚園
- 聖徳学園八王子中央幼稚園
- 聖徳学園多摩中央幼稚園

### 主なトピックス

連載 第4回 → 3ページ

大学教員によるリレーエッセイ  
「研究室から」

「放射能汚染の中で生きる」  
人間栄養学部教授 林 徹

INDEX

学園	1・2
大学院・大学・短大	1~4
幼児教育専門学校	4
附属女子中・高	4・5
取手聖徳女子中・高	5
小学校	5
幼稚園	6・7
インフォメーション	8

より豊かな未来に向け ISO認証を更新  
聖徳学園は、平成15年11月に日本の教育機関では初めて品質管理システムのISO9001および環境管理システムのISO14001、両国際規格の認証を同時取得しました。

ISO 9001 (教育の質マネジメントシステム)  
ISO 14001 (環境マネジメントシステム)

ご意見/ご感想募集「聖徳フラッシュ」は皆さんの広報紙です。本紙に関するご意見・ご感想を下記サイトにて受け付けております。  
<http://www.seitoku.jp/gakuen/taiwase/>  
「その他のご意見・お問い合わせ」まで

学校法人東京聖徳学園 理事長・学園長  
聖徳大学・聖徳大学短期大学部 学長

## 川並弘昭先生が逝去



学校法人東京聖徳学園 理事長・学園長・聖徳大学・聖徳大学短期大学部 学長の川並弘昭先生は、五月三十日(月)に七十八歳で逝去されました。心から哀悼の意を表します。

### 幼児教育・女性教育に生涯を捧げる

故川並弘昭先生は、昭和八年四月十日、学園創立者の父川並香順・母孝子先生の長男として出生し、昭和三十三年、早稲田大学第一

文学部哲学科を卒業されました。同年四月に聖徳学園高等保育学校専任講師ならびに同校主事に就任、昭和四十一年に香順先生が急逝

し、学校法人東京聖徳学園理事長に就任、さらに、昭和四十八年に聖徳学園短期大学学長であった孝子先生が他界し、同学長にも併せて就任されました。そして、昭和五十九年に学校法人東京聖徳学園学園長、平成二

年には聖徳大学学長に就任され、幼稚園から大学院までの一貫教育を擁する総合学園を築き上げました。

また、学外においても日本私立短期大学協会会長を務めるなど、私学の発展に多大な貢献をされました。なお、平成十五年には「勲三等旭日中綬章」を受章しており、このたび五月三十日に「正五位」を授位されました。

理事長の就任にあたり  
学校法人東京聖徳学園 理事長・学園長  
聖徳大学・聖徳大学短期大学部 学長  
川並弘純



学校法人東京聖徳学園理事長でありました川並弘昭先生は、闘病生活を送っておりましたが、五月三十日帰ら

ぬ人となりました。故川並弘昭先生の死去にともない、この度、理事会の承認により、私が学校法人東京聖徳学園理事長・学園長、聖徳大学学長、聖徳大学短期大学部学長に就任しました。大いなる指針を失った悲しみとともに、責務の重大さを痛感しております。

本学園は、昭和八年の創立以来、創立者が掲げた建学の精神「和」にもとづき、「人間教育」「心の教育」の達成に日々努めてまいり

ましたが、この意思を受け継ぎ、建学の精神を社会に広めていくことが理事長の重大な使命であると考えております。今日の社会では、生活環境が豊かになり、自由奔放な面が浸透して、戦前のような良き家庭教育が崩壊しつつあります。これを補佐する一つとして、学校教育の重要性がますます高まってきています。

本学園においては、この学校教育の特質を「和」の達成におき、幼稚園の幼児

### 学園葬に約三千人が参列



六月二十六日(日)午後一時より、学園葬が聖徳大学体育館においてしめやかに営まれました。葬儀は、仏教式・真宗大谷派善了寺ご住職の青木顯正導師により執り行われました。教育関係者や政財界関係者、卒業生ら約三千人が参列し、私学の発展・学園の発展に尽力された故人を偲びました。開式に先立ち、川並弘昭先生作詞の「青春の風は胸に鳴る」が献奏されました。高円宮憲仁親王妃久子殿下より賜ったご供花が供えられた祭壇の前に導師らが入堂され、開式

### 夏休みは山中湖ガーデン!

静かな山中湖畔の森にひっそりと佇むイングリッシュガーデンに囲まれたヒーリングリゾート「山中湖ガーデン」。

この夏、山中湖荘が再開します。学生から園児、その保護者の方々、同窓会会員、教職員関係者は学園料金でご利用できます。ご友人等のご紹介も学園料金が適用となります。

標高千メートルの山中湖は、八月でも平均気温二十二度。六度と快適。周辺観光も盛りだくさん、水陸両用車のカバ号も待っています。

テニス、サイクリングと遊んだ後は、富士山麓のバナジウム水鉱泉の大浴場でゆっくりと。お料理は、富士山麓高原野菜と地場の肉・魚の高原ナチュラルリゾート・キユイジーヌをご堪能ください。詳しくはホームページをご覧ください。

そして、鈴木寛文部科学副大臣、大沼淳日本私立大学協会会長、佐藤弘毅日本私立短期大学協会会長、関口修財団法人短期大学基準協会理事長よりご鄭重な追悼の辞を賜りました。続いて、葬儀委員長の河村守康理事、川並弘純新理事

長より謝辞がありました。その後、代表者による指名焼香、親族焼香、一般焼香が行われ、学園葬が終了しました。

多数の皆さまにご会葬賜り誠に有難うございました。ここに厚情を深謝して謹んで御礼申し上げます。

大人1泊2食 6,000円～  
小学生・幼児半額!  
乳児無料!!

聖徳学園 山中湖荘  
山中湖ガーデン  
お問い合わせ 0555-62-3111  
<http://www.yamanakako-garden.com>  
山梨県南都留郡山中湖村平野506



# 聖徳大学・聖徳大学短期大学部後援会 東日本大震災 学生支援金授与式を挙行

三月十一日に発生した東日本大震災により、被災されましたすべてのの方々に対し、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を学園一同お祈りいたします。

六月十日(金)に「聖徳大学聖徳大学短期大学部後援会 東日本大震災支援金授与式」を行いました。この支援金を募るにあたり、星野伸之助後援会会長の発案により、国内のたくさんの方々

が苦境に立たされている今こそ、「和」の精神をもって最大限の支援を行いたいとの提案がありました。そこで被災した学生への支援金を約一ヶ月間募ったところ、百三十八万円もの善意が寄せられました。改めて御礼申し上げます。

授与式には、十二名の被災学生が出席しました。保護者を亡くされた方、家が流された方等、未曾有の大震災であったことを改めて思い知らされました。頑張っていることと、頑張りつつほしいとの気持ちから、後援会は、学生

星野会長が被災学生一人ひとりに支援金を渡しました。代表謝辞を述べた梅木美緒さん(児童学科四年)は、感謝まっぴらで最初は言葉が出ませんでしたでしたが、「本当に多くの人たちに支えられていることを実感しております。入学した時の『夢や目標』を達成できるように、今自分ができることを精いっぱい頑張りたいです」としっかりとした言葉で話しました。

後援会は、学生



学生代表謝辞を述べる梅木美緒さん(中央)

# 被災地向けメッセージを発信 短大総合文化学科 「希望の芽を育む」 東日本の再出発に向けて



<http://soubun.seitoku.ac.jp/>  
総合文化学科ホームページをぜひご覧ください。

短期大学部総合文化学科は、学科のホームページにおいて、東日本大震災の被災地の方々に向けてのメッセージ「希望の芽を育む」を発信しました。

今回、こうしたメッセージを発信したのは、大震災によって本学科の学生今年三月卒業生を含むが数名被災者となり、これらの学生・卒業生に対し、教員として何らかの形で励ましを掛けたいという気持ちが高まったことと、復興に向けて歩む被災地の方々に対してメッセージを発信すること

が夢を持って入学した希望の火を消すことがないよう、今後も支援していきます。

「希望の芽を育む」は、学科の教員が、専門領域の知識に基づいて書いた震災に関連する意見や提言、さらには被災地の方々への思いを持ち寄って作成した叢書(シリーズ)で、防災学、建築学、栄養学、看護学、文学、コミュニケーション学など幅広い分野を網羅しています。趣旨に賛同した聖徳大学の他学部、学科の教員も加わり、順次、ホームページにアップしているところ

多岐にわたる分野の教員からの提言

「希望の芽を育む」は、学科の教員が、専門領域の知識に基づいて書いた震災に関連する意見や提言、さらには被災地の方々への思いを持ち寄って作成した叢書(シリーズ)で、防災学、建築学、栄養学、看護学、文学、コミュニケーション学など幅広い分野を網羅しています。趣旨に賛同した聖徳大学の他学部、学科の教員も加わり、順次、ホームページにアップしているところ

今後、一般学生による被災者の方々へのメッセージなどもアップしていく計画です。被災された学生卒業生だけでなく、高校生をはじめ多くの被災地の方々

# 平成二十三年年度 留学生フレンドシップ パーティーを開催

六月十七日(金)に、留学生フレンドシップパーティーが開催されました。第一部は、聖徳大学一号館内にある作法室「楽修軒」にて、日本の伝統文化である「茶道」を体験しました。

茶道部の学生と顧問の佐藤七枝総合文化学科准教授より、基本的なお辞儀の仕方からお茶や和菓子のいただき方まで丁寧にレクチャーがありました。本格的な環境の中での日本文化体験は、留学生にとっても貴重な経験になりました。



茶道を体験する留学生

第二部は、大学八号館の食堂「アミティエ」にて、会食・歓談を行いました。国際交流委員会の教員や留学生の担任、国際交流に興味を持つ日本人の学生も加わり、計五十二名での会となりました。始めの代表挨拶では、社会福祉学科三年の南基大さんが、「今年は震災で多くの留学生が一時帰国をし、大変な思いをしましたが、皆さん、今ある時間を大切に過ごしましょう」と述べました。

歓談の途中で行ったチーム対抗クイズでは、日本語能力試験の問題から流行の韓流ドラマの問題まであり、それぞれのチームが力を合わせて考えることでより一層交流を深めることができました。このような交流の場を通して、留学生の日本文化に対する関心が一層増し、各国との架け橋として聖徳での留学生生活が実り多いものになることを願っています。

「希望と愛への旅路」音楽に夢をのせて「聖徳大学SOA音楽研究センター主催」にて初演されました。なお、ホームページの「希望の芽を育む 東日本の再出発に向けて」の題字は、人文学部日本文化学科書道文化コースの吉田洪崖教授の書です。



アミティエで記念撮影する留学生、日本人学生、教員たち

# 聖徳大学学友会が 「東日本大震災義援金」を 松戸市長に届けました

五月二十五日(水)、聖徳大学学友会が東日本大震災義援金百四万四千三百三十四円を本郷谷健次松戸市長に届け、「被災者に何かしたい」という学生の思いを形にすることができました。

代表して学友会会長の勝見愛湖さん(児童学科四年)、副会長の小林未来さん(日本文化学科四年)、時計穂波さん(児童学科三年)が、市長に義援金を手渡ししました。この義援金は、日本赤十字社を通じて被災地に届けられます。

義援金の内訳は以下の通りです。

- 4月4日～28日の期間に、学友会を中心に大学内で募った募金 451,278円
- 4月16日開催のSOAオープニングセレモニー・チャリティーコンサートにて募った募金 563,056円
- 聖徳学園菊水会(聖徳学園同窓会連合会)からの義援金 30,000円



前列左より:本郷谷市長、時計さん、勝見さん、小林さん 後列左より:野原八千代・学長補佐、山本まり子・音楽総合学科教授、長江曜子・生涯教育文化学科教授

「ご寄付いただきました皆さまに改めて感謝申し上げますとともに、今回お渡しした義援金が被災された方々の生活支援・再建に少しでもお役に立つよう願っております。」

研究室から ④ 林 徹

## 放射能汚染の中で生きる

首都圏では、三月十五日の福島原発の水素爆発時に吹き出した放射性物質が飛来し、三月二十一日の雨によりほとんどすべてが落下し、地面が汚染してしまつた。その後の新たな汚染はないが、低いレベルとはいえ、放射能汚染の中での生活を強いられることになった。

◆政府は、水や食品などの暫定基準値を設けて、それ以下の放射能レベルの飲食物ならば摂取し続けても健康被害はないという。しかし、具体的な数値を用いての丁寧な説明がなされておらず、なかなか安心できない。そこで、すべて上限値のもののみを一年間飲食し続けると仮定して計算したところ、汚染飲食物による発ガン率は〇・〇二五%上昇する。一時間当たり〇・五マイクロシーベルトという場所に二十四時間三百六十五日生活し続けると仮定して計算すると、発ガン率は〇・〇二二%上昇する。

◆したがって、このような高い放射線量の所で基準値ぎりぎりの飲食物のみで一年間生活すると、発ガン率は〇・〇四七%増加する計算になる。現実には、首都圏でこのような極端な生活を強いられることはない。ちなみに、日本の人口は約一億三千万人、交通事故による年間死亡者数は約五千人であり、負傷者は約百万人である。また、日本人の死亡原因の約三十%はガンである。

◆首都圏においては、政府や関係機関が適切に検査して結果を公表するならば、健康被害をむやみに恐れる必要はないものと思われる。放射線が体内にラジカルや活性酸素を生成し、それが遺伝子などを傷つけて、健康被害が生じる。だが、われわれの身体は、ラジカルや活性酸素を消去する能力を備えており、食品には消去する成分が含まれている。

◆過度な不安によるストレスは身体が備えている能力を低下させ、一方、笑うと免疫力が高まるという。放射線被ばくはできるだけ避けるべきであるが、くよくよ心配するのではなく、正しく食べて明るい生活を心掛け、放射線の影響を吹き飛ばそう。

(人間栄養学部教授／専門分野は食品化学)



線量計で食品の放射能を測定する筆者

## 「水とみどり」と歴史の回廊マップ」が完成 学生代表が松戸市長に贈呈

平成二十一年度松戸市役所都市計画課の依頼を受けて聖徳大学児童学部の学生が作成した「水とみどり」と歴史の回廊マップのへ矢切地区」が好評を博し、昨年末に、新たなマップ作りの依頼がありました。企画から半年をかけた、このほど完成したマップと、作成にあつた学生の寄せ書きを、五月二十日(金)、印田美咲さん(児童学科二年)、塚原瞳さん(児童学科二年)が学生代表として、本郷谷健次松戸市長に渡しました。

このマップは、松戸市の歴史あるさまざまな場所を市民の方々に散策してもらうことを目的として、市役所が作成しているものです。改定の時期になり、若い人の視点からマップ作りをしたいということ、担当の方が神谷明宏・児童学部長教授に相談したことからこのプロジェクトはスタートしました。

今回は矢切地区に続く第二弾で、窓口役でマップ作りの指導にあたる神谷准教授が、担任を持つ児童学科児童文化コースの学生に声を掛けたところ、十名の有志が集まりました。今回は「上本郷地区」と「小金北地区」を作成しました。

昨年の秋に依頼を受けてから、学生たちは休み時間などを利用して計画を練り、役割分担し、冬休み期間に实地踏査をしました。矢切地区と比べて市街地を通行するため、コースの設定が難しく、思いのほか時間がかかってしまい、実際にイラストを描き始めたのは春休みでした。イラストの色塗りも全員での共同作業となり、数日



マップを手に記念撮影 (左から本郷谷市長、野原八千代学長補佐、印田さん、神谷准教授、塚原さん)

## 平成二十三年度 卒業生のための春期音楽療法研修会」を実施

聖徳大学SOA音楽研究センター主催・平成二十三年度「卒業生のための春期音楽療法研修会」が、五月二十八日(土)の午後に開催されました。

音楽学部音楽総合学科音楽療法コースは、この三月に十一回目の卒業生を送り出しました。これまでに約二百七十名の卒業生が福祉医療、教育など、多岐にわたる分野で活躍しています。

今回は各卒業年度から一人以上、計二十五名が集まりました。研修会はず、高齢者施設で音楽療法を実践している卒業生二名が事例研究を発表し、真剣な質疑応答が行われました。次に、

村井靖児音楽学部教授から日本音楽療法学会の新しい資格認定制度についての話がありました。

その後の卒業生の近況報告では、東日本大震災後、ボランティア活動をしてきた東北在住の卒業生からの報告を軸に、音楽療法士としてできることは何かを考える時間となりました。

遠方から来た卒業生もあり、閉会後も久しぶりのクラスメートや教員との再会に話が尽きないようでした。



卒業生の現場の話に耳を傾ける参加者たち

## 所長が代わりました



所長 林史典 (兼 人文科学部長、兼 日本文化学部長、兼 生涯教育文化学部長)

九年前所長を務められた山口博名誉教授がこの三月末で退職され、それにもなつて私、林史典が後任を承ることになりました。どうぞ、よろしくお願いします。

「聖徳大学言語文化研究所」の発足は、平成四年に創設された「川並総合研究所」に遡ります。「川並総合研究所」は、平成七年に「聖徳大学総合研究所」と改称され、平成十一年には「聖徳大学総合研究所」が「言語文化研究所」に改められました。

は朝から晩まで授業よりも熱心に大学に通うことになったようです。その努力のかいあって素晴らしいマップが出来上がりました。

人智が生んだ文化としての言語、言語に反映された文化、言語によって記録され、伝えられる文化等々、「言語文化」の意味する範囲は明確ではありませんが、研究所の「規程」がその目的を「細分化された専門学術の閉鎖状況を越えて、すべての学術文化に通底する言

ました。その歩みをとると、今年で二十年、本学では最も歴史の長い研究所というところになります。

今年度は、東日本大震災の影響に加えて所長交代のため、活動の開始が少し遅れましたが、六月五日(日)の第百三十六回公開研究会表会「異界」へのいざない！ドイツ、日本、中国の文学・音楽から」を皮切りに研究成果の発信を始めました。ご支援ご協力をお願いします。

### 研究所リレー講座のお知らせ

聖徳大学の4研究所が連携して開催する初めての連続講座、「研究所リレー講座」が9月10日よりスタート！総合テーマの【子ども】について、趣向をこらした講座を開催。皆さまのご参加をお待ちしております。

第1回	9月10日(土)	児童学研究所長 松浦信夫	児童虐待はなぜ増え続けるのか ー歴史的に検証するー
第2回	9月24日(土)	生涯学習研究所長 福留強	地域に輝く子どもたち ー子ほめ条例のまちは変わるのかー
第3回	10月8日(土)	心理教育相談所長 末永清	子どもの問題行動とその対応 ー良い子に育てるためのヒントー
第4回	10月22日(土)	言語文化研究所長 林史典	「おかあさん」の語源 ー母親の呼称、その歴史と社会学ー

・時間: 13時~14時30分  
 ・定員: 150名(申込不要・入退場自由)  
 ・参加費: 無料  
 ・会場: 聖徳大学生涯学習社会貢献センター(聖徳大学10号館)14階

お問い合わせ: 聖徳大学知財戦略課 TEL.047-365-1111(大代)

研究所リレー連載 所長の伝言板 第八回 聖徳大学言語文化研究所

語機構の再検討から出発し、人間と世界についての総合的な学知を創建することを目的とする。(第二条)と述べるように、「言語文化」を可能な限り広く捉えた活動が続けられてきました。そのような方向性を引き継ぐとともに、研究機能も強化しながら将来への道筋を明らかにしていきたいと思

### 平成二十三年度 学外研修Ⅱ(北海道研修)を終えて

聖徳大学短期大学部の学生が二年次に参加する「学外研修Ⅱ(北海道研修)」が、六月六日(月)より二班に分かれて実施され、六月二十六日(日)に無事終了しました。



層雲峡の「銀河の滝」をバックに記念撮影

この研修の目的は、学生時代に各地の歴史、風俗、生活等の見聞を広め、かつ、社会人として不可欠の要素である規則ある団体生活を体験することにあります。

このような目的を踏まえて、札幌、温根湯、川湯、十勝川、登別、定山溪と研修先を移動し、雄大な自然の中、それぞれの訪問先で地元の方や教員とのふれあいを通じ、大変有意義な時間を過ごしました。また、それぞれのホテルでは北海道の郷土料理でもてなしいただき、泉質の異なる温泉につかり、楽しく過ごすごことができました。学生たちは、この旅行で感じた感動や友情を育て、建学の精神に通じる思いやりのある女性へ成長していきます。



心理学科長 教授 岡堂 哲雄

平成二十四年四月にスタートする聖徳大学心理・福祉学部の心理学科は、感覚・感情、学習・記憶、性格・態度、人間関係などについて科学的に研究し、心と行動の理解を一層深め、問題解決を支援し、たとえば震災時の心のケアを的確に行う取り組みなどを教育研究する学科です。一年次には、心理学の基礎を学びつつ、自分のライフ・デザイン(人生設計)に沿って、コース選択の

**心理学科は  
三コースになります**

準備をします。二年次には、三コース(臨床心理・家族心理・社会心理)の中から選択したコースに所属し、専門教育を受けることとなります。各コースの特徴をご紹介します。

○ **臨床心理コース**  
心の問題についての理解を深め、心理テストによる分析、心理カウンセリングによる支援、非行問題や虐待予防に関するコミュニケーション支援などを学びます。聖徳大学大学院臨床心理学研究科臨床心理学専攻に進学し、「臨床心理士」資格取得を目指す人の基礎教育の場です。

○ **家族心理コース**  
誕生、乳幼児期、学童期、思春期、青年期から高齢期までの各年代に特有の心理面の課題と危機管理について学習します。夫婦、親子、きょうだい、多世代の家族関係の心理について学び、家族発達と危機への対処、幸福な家庭の条件などに取り組みます。

○ **社会心理コース**  
社会心理の基礎および会社・役所などの職場や地域の交流には必須の人間関係力を身につけること、さらに地縁・社縁を尊重する社会性豊かな職業人への歩み、さらに苦境を克服できる人間の強さ、回復力あるいは幸福感の研究に取り組みます。

### 聖徳大学幼児教育専門学校 オープンキャンパス開催中!

子どもたちにとって最初に出会う先生は、幼稚園・保育園の先生です。「はじめてのせんせいになろう」をキャッチフレーズに、本年度は昼間13回、夜間6回のオープンキャンパスを開催。うれしいことに参加者が年々増加しています。

昼のオープンキャンパスは、本校教員による体験授業、学生スタッフによるアトラクション(授業で学んだもの)、ティータイムでの学校生活Q&Aなどを実施。アトラクションでは、絵本を統一テーマに、学生が授業で作成した世界に一つだけの自分の絵本、オリジナル絵本を、回ごとに季節にあう作品を選び、紹介しています。次回8月27日(土)のオープンキャンパスでは、「幼児のリズムあそび」の体験授業を予定しています。

夜のオープンキャンパスは、Ⅱ部生(夜間)スタッフとの学校生活Q&Aや、授業見学、助手輪旋(自分で働く場所を探さなくても大丈夫)についての説明などを実施。17時30分と20時スタートの回があります。

また、オープンキャンパスと、日曜・祝日以外毎日実施している学校見学に両方参加された方にプレゼント(マックカード)を進呈しています。

三田のセイトクで学生スタッフ、教職員がお待ちしております。

【今後の日程】

昼のオープンキャンパス  
8月27日(土) 10:00~12:00  
9月17日(土) 10:00~12:00

夜のオープンキャンパス  
9月21日(水) 20:00~22:00

※8月5日(金)の首都圏保育専門学校フェアにも参加します。(会場:お茶の水東京ガーデンパレス)

オープンキャンパスの様子はホームページの「セイトク日記」で紹介しています。ぜひご覧ください。  
<http://www.seitoku.jp/kttcsu/blog/category/nikki/>



専門学校ホームページ

### 附属女子高等学校同窓会「爽和会」年間行事の紹介

4期生~6期生の合同同窓会を8月28日(日)に、附属女子高内食堂で開催します。3年前に1期生から3期生の合同同窓会を開催した時は、卒業生・お子様・教員を含め170名近くが集まり大盛況でした。3年ごとに3学年集まろうと計画しており、今回は4~6期生です。卒業してから一度も母校に足を運んだことがない方はぜひ遊びに来てください。

さらに、「卒業10年を祝う会」を11月20日(日)に、聖徳大学10号館で計画しています。高校を卒業してから10年経った節目の時に集まったらどうかと幹事会で提案があり、企画しました。今回は13~15期生が対象です。こちら友達を誘い合わせて多くの卒業生に来ていただきたいと思っています。

また、例年行われている「フラワーアレンジメント&押し花の体験講座」を10月9日(日)の聖徳祭で今年も行います。そして、「第3回成人式」を平成24年1月9日(月・祝)に、成人式を迎える卒業生で集まって行う予定です。

### 幼児教育専門学校

#### 記念すべき伝統の 第五十回保育表現研究発表会」を実施



表現あそび

幼児教育専門学校の「第五十回保育表現研究発表会」が、七月九日(土)、聖徳大学体育館において、聖徳大学、聖徳大学短期大学部との合同で開催されました。発表会当日、川並弘純理事長をはじめ大学、短大、専門学校の多くの教員、保護者の方々が来場し、興奮と熱気のなか、会が始まりました。専門学校は、学生自らが創意工夫して作り上げた「表現あそび」と「創作舞踊」の発表をしました。会場からは、一つ一つの作

品にたくさんの拍手をいただき、演者と観客の一体感を感じることができました。本年も聖徳学園で保育者になる夢に向かい、共に学ぶ学生たちが同じ舞台上で日ごろの成果を発表することができ、また新しい一歩になりました。



創作舞踊

**特別展覧会** リスト生誕200年記念「**ロマン派作曲家たちの自筆書簡**」展

本年はリスト生誕200年にあたります。そこで本学では、これまで収集してきた音楽に関連する資料の中から、リストとロマン派の作曲家17人(シューマン、ワーグナー、ブラームス、チャイコフスキーなど)の自筆書簡を展示します。また、特別展示としてシューベルトの自筆楽譜も合わせて展示します。

会期/ **開催中~平成23年10月29日(土)まで 9:00~17:00**  
(休館は、毎日曜日・祝日と学事日程による休業日)  
**入場無料**

会場/ 利根山光人記念ギャラリー

お問い合わせ/ 聖徳大学川並記念図書館 TEL.047(365)1111 [大代]

### 附属女子中学校・高等学校

## 初めての春の体育祭を開催

六月四日(土)、梅雨の晴れ間の素晴らしい天候のもと、第二十九回体育祭が盛大に開催されました。初めての春の開催となり、準備も戸惑うことが多くありましたが、

今回、最も不安だったのは、「応援団を昨年までと同様に行うことができるだろうか」という点でした。六月という点でも、どうしても高校三年生は最後の大会の時期とぶつかることが多く、

応援団を希望する生徒が出ないこと、また、各委員会が発足する四月下旬まで体育委員が決定せず、それまで準備が全く進まないことが予測されました。

そこで、高校三年生の体育の合同授業編成を色ごとに分けたり、新クラスの発表直後に体育委員を先に決定し、体育委員会のみ開催を前倒しで実施するなど工夫しました。このように生徒・教員が一丸となって協

力することにより、体育祭の実施にこぎ着けることができました。当日は最高の体育祭日和となり、生徒も教員も、そして保護者の皆さまも存分に体育祭を楽しみました。



迫力満点の大玉送り

## 附属女子中学校・高等学校 「合唱祭」開催される

若さと清楚なる美しさを表現した音楽の祭典

去る六月十八日、聖徳大学附属女子中学校・高等学校合同の「合唱祭」が華やかに開催されました。本年



会場を豊かなハーモニーが包みしました

は中学校と高等学校あわせて三十クラスが参加し、それぞれ日頃の練習の成果を発表しました。著名な作曲家達の作品に生徒達が果敢に挑戦し、若く洗練とした演奏に魅れることができました。これは音楽家として大きな喜びであります。

中学生たちは、まだ経験がやや不足してはいるながらも、清楚に精一杯にみんなで心を合わせ、音楽を創るといふ一点に結集したことを高く評価したいと思います。また、高校生たちが、豊かな表現力を目指して、「アンサンブル」というものの難しさに果敢に挑戦していた姿には心をうたれるものが



聖徳大学音楽学部演奏学科長 附属女子中学校・高等学校音楽科長 八杉 忠利 教授

### 取手聖徳女子中学校・高等学校

## 取手聖徳女子を体感できる 『唯一のイベント』のご案内

自然豊かな環境の中で、充実した施設設備に囲まれ、女子の可能性を限りなく伸ばす聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校は、受験生・保護者の皆さまに「女子教育」と「学力伸長」をお約束しています。その取り組みと成果の両方を体感していただくイベントを二つご紹介いたします。

★『オープンスクール』では、実際に近い形での模擬授業や部活動を体験し、在校生や教員と本音で触れあつて、取手聖徳女子中高

★『音楽オープンスクール』では、丸一日音楽に浸りながら、高校音楽科・中学音楽コースの魅力を確認していただけれます。日程は下記の通りです。なお、十月以降も受験生・保護者を対象とした「入試対策説明会」等をご用意しておりますので、ぜひホームページでご確認ください。たくさんの方々のご来校をお待ちしております。

	中学校生徒・保護者対象	小学校児童・保護者対象
オープンスクール	8月8日(月)・8月21日(日) 9月19日(月・祝)	8月7日(日)・9月19日(月・祝)
音楽オープンスクール	8月20日(土)・9月25日(日)	8月20日(土)・9月25日(日)
内容(共通)	①開始時刻10:00 ②取手・守谷駅より無料送迎バス ③昼食(体験会食あり) ④在校生とのフリートーク ⑤在校生保護者との懇談 ⑥教員との個別相談	
参加予約方法	ホームページ(参加申込フォーム)、または電話(入試広報室直通 TEL:0297-83-3541)で、お申し込みください。	

## 取手聖徳女子高校「新体操部」インターハイ出場決定

六月十七日(金)に石岡総合運動公園体育館で行われた「平成二十三年全国高等学校新体操選手権大会茨城県予選会」で、本校新体操部が団体で優勝、個人では高校一年生の小川真悠さん(習志野第一中学出身)が総合優勝し、七月三十一日、八月一日に青森県で行われるインターハイへの出場を決めました。

新体操部は、平日の活動時間が約一時間半と短いにもかかわらず、効率よく練習を行うことを常に心がけています。新体操は「いかに美しく、いかに正確に」できるかという、求め続けても終わりがけない競技だけに毎日長時間との戦いです。部員は試合までの目標や計画を細かく立て、日々の練習内容も自ら考えています。



賞状を手に記念撮影

昨年は部員数もぎりぎり演技も完成しきらず、インターハイにはあと一歩届かず、悔しい

### 附属小学校

## 三泊四日の望月校外学習で成長する児童たち

本校では毎年六月、長野県佐久市の春日温泉にある美しい自然に囲まれた学園セミナーハウス「かすが荘」を宿とし、全校児童が二年ごと三班に分かれて、三泊四日の校外学習に参加します。今年は、六月三日(金)から六月十二日(日)にかけて実施しました。

校外学習に臨むにあたり、親元を離れるのが不安な児童とさまざまですが、かすが荘に着けば充実した活動が始まり、どの児童も活動に全力で没頭する姿がみられます。キャンプファイヤーなども、学年によってカリキュラムが組まれ、毎年変化のある校外学習となっています。

二班の五年生は群馬県の浅間山に行き、火山博物館と鬼押し出し園を見学しました。実際に火成岩を発見したり、ヒカリゴケ、コマクサなどのさまざまな植物を観察することができました。児童にとっては発見がたくさんあり、校外学習から戻ってきてからの理科の授業などでは、自然の中で発見したことを話す児童がみられました。児童たちにとって学びがいのある校外学習となりました。



鬼押し出し園を見学する児童たち

## 児童の防災意識向上を目指して

本校は、三月十一日の東日本大震災から、防災に関する考えをあらためさせられました。避難訓練や防災教室だけでなく、児童の安全確保のために全校児童に防災頭巾を配付しました。

そのことが児童の防災意識を高めることにつながり、七月十一日(月)に実施した避難訓練では、昨年度までよりも緊張感があり、真剣なまなざしで取り組む児童の姿がありました。なかには東日本大震災を思い返して避難をする児童もいました。



校庭へ避難する児童たち

今後本校では防災対策に万全を期し、いかなる場合も児童の安全が確保できるよう全教職員の意識の向上と緊急時の対応の改善を行っていき、児童の指導を徹底していきます。

# 幼稚園短信

## 附属第二幼稚園 創立四十周年 式典を迎えて

聖徳大学附属第二幼稚園は、学校法人東京聖徳学園を母体に、昭和四十六年に

聖徳学園短期大学附属第二幼稚園として松戸市小金原に開園し、今年創立四十周年を迎えました。  
五月二十六日(木)には在園児と保護者を対象に記念式が、二十八日(土)にはご



川並知子総園長・園長によるお話

## 同窓会 菊水会

六月四日(土)、毎年恒例の卒園生の同窓会「菊水会」が行われました。「久しぶりだね!元気があった?」と教員や友達との再会を懐かしむ声や、「椅子ってこんなに小さかったっけ?」「これでよく遊んだよね」と幼稚園時代を振り返る会話があちこちから聞かれました。

受付後はホールで幼稚園園歌を歌ったり、先生からのお話を聞いたり、聖徳大学短期大学部保育科の掃守純一郎准教授の楽しい人形劇やパネルシアターを見て、楽しい時間を過ごしました。勉強やスポーツ、友達作りと毎日忙しい学校生活を送



この日だけは園児に戻って元気いっぱい楽しめました

っている卒園生も、園児に戻ったかのような満面の笑みで見入っていました。

一年生は旧年長児の保育室で担任からアルバムを受け取り、それぞれ小学校で

## 附属小学校 体験入学!

六月八日(水)、年長児が松戸市秋山にある聖徳大学附属小学校に体験入学しました。この活動は、幼稚園と小学校との連携を図り、園児たちの小学校入学への気持ちを高めることをねらいとしています。

園バスで小学校へ向かい、校舎内に入ると、「小さな世界」の歌声とともに、一年生のお兄様お姉様方が園児たちを迎えてくれました。

歓迎会での「歓迎の言葉」や「歓迎の歌」に、園児たちは憧れのまなざしを向けていました。今年三月に附属幼稚園を卒業し、一年生になったばかりの児童の成長した顔も見られました。

その後、教室に移動し、初めて小学校の机と椅子に座ると、「わあ、大きい。足がつかない」と話す園児も

ありました。小学校の先生から名前を呼ばれ、元気よく返事をし、いよいよ国語や算数の勉強です。初めて教科書を手に持って音読をする得意満面の園児の顔は、小学生のようでした。

また、体育館では、天井も高く広い空間と、幼稚園にはない遊具や木や高いバスケットゴールに園児たちは大喜びでした。小学校には「食堂」という全児童が一堂に会し、食事を

する大きな部屋があり、小学校のお兄様お姉様方と一緒に昼食をいただきました。メニューは、オムライス、ツナサラダ、ブラマンジェで、「おいしい!もつと食べたい!」とお替

わりました。小学校の先生から名前を呼ばれ、元気よく返事をし、いよいよ国語や算数の勉強です。初めて教科書を手に持って音読をする得意満面の園児の顔は、小学生のようでした。

また、体育館では、天井も高く広い空間と、幼稚園にはない遊具や木や高いバスケットゴールに園児たちは大喜びでした。小学校には「食堂」という全児童が一堂に会し、食事を

する大きな部屋があり、小学校のお兄様お姉様方と一緒に昼食をいただきました。メニューは、オムライス、ツナサラダ、ブラマンジェで、「おいしい!もつと食べたい!」とお替

わりました。小学校の先生から名前を呼ばれ、元気よく返事をし、いよいよ国語や算数の勉強です。初めて教科書を手に持って音読をする得意満面の園児の顔は、小学生のようでした。

## 附属浦安幼稚園 「防災訓練」 園児の保護者への引き渡し

今年三月十一日、浦安幼稚園が所在する浦安市は東日本大震災に見舞われるという大災害にあいました。浦安市も今まで想像しえなかった大液状化現象にあり、道路や家屋は目を覆うほどの無残な光景でした。地震の大揺れもさることながら、液状化現象の恐ろしさを見せつけられました。

一時は地震のため生活に困窮し、園児の大半が浦安市から離れました。現在、浦安市はインフラ復旧に全力で作業をしています。

浦安幼稚園では五月十八日(水)、園児を保護者に引き渡す防災訓練を実施しました。その日は緊急用非常サイレンが鳴り響き、園内アナウンスが流れると、訓練とはいえず緊迫感が走りまわりました。周囲の状況を見て、第一避難場所へと移動を開始し、園庭に集合してから

「押さない、駆けない、喋らない、戻らない」を守ることを教えました。保護者の方にも参加していただき、消火器の取り扱い方を学んだり、また、口をハンカチでふさぎ、煙幕を通り抜ける際、見えないうち息苦しさを経験したり、さらに、自分の子ども

の名前を担任に伝えて引き取り、防災訓練を無事に終えました。これからのまさらかの時に備えて防災訓練を実施していきたいと思いま

す。



たくさんの園児と児童で埋めつくされた食堂

## 附属第三幼稚園 「おじいさま・おばあさまの会」を終えて

六月九日(木)、幼稚園ホールでおじいさま・おばあさまの会が行われました。皆さまの会が行われました。天気にも恵まれ、園児の数を上回るほどのおじいさま・おばあさまにおいでいただきました。園児たちは、遠方から来てくださるおじいさま・おばあさまの顔を嬉しそうに見守り、たくさん拍手をくださいました。

この会に先立ち、園児たちに「おじいさま・おばあさまと一緒にしたいこと」を聞いてみると、「一緒にご飯を食べたい」「お出かけをしたい」「一緒にトイレに行きたい」と答える園児もいました。会が終わると、おじいさま・おばあさまと手を繋ぎ、うれしそうに帰る園児たちの姿がこちらで見られました。きつこの後、

おじいさま・おばあさまと楽しい時間を過ごしたと思ろん、園児たちにとっても心に残る一日になったことでしょう。

おじいさま・おばあさまの名前を担任に伝えて引き取り、防災訓練を無事に終えました。これからのまさらかの時に備えて防災訓練を実施していきたいと思いま

す。



煙のなかを通り抜ける園児たち



消防車両も出動



園庭へ避難する園児たち

### 三田幼稚園 「一学期のまとめ 生活発表会」

今年の生活発表会は六月二十九日(水)、品川区の施設「きゅりあん」の大ホールで行われました。年少児は四月の入園からまだ三ヶ月。寂しくて泣いていたたり、うれしくて自分の思いのまま動いていた園児たちが、たった三ヶ月の間にお話を聞く楽しさ、みんなで踊る楽しさなど、たくさん「楽しさ」を吸収し、成長へと結び付けていくたくましさで感動した一日でした。

全園児が、園歌、せつけんさんを歌い、年少児の退場後は年中児、年長児と掛け合いで「ぼかぼかてくてく」を元気に歌うことができました。「かえるのうた」、合奏「アイン・クライン・ナハトムジーク」の演奏中、会場内は静まり返り、合奏が終わった



園児の扮する虎は大迫力

た後は、たくさんさんの感動と称賛が入り交じった大きな拍手をいただきました。

お遊戯は絵本から選び、学年ごとのねらいに合った年少児「ぼくのくれよん」、年中児「たろうのおでかけ」、年長児「ちびくろさんぼ」を披露しました。希望した役ができたか、できなかったかで気持ちの入りが違っていた園児たちも、自分の役が大好きになりました。

### 八王子中央幼稚園 「なかよし発表会」

幼稚園では、未就園児を対象にした「なかよし発表会」を行っています(今年七月八日(金)に実施しました)。なかよし発表会は、生活発表会後に行うこともあり、園児たちは自信に満ちた表情で舞台上がり、小さなお友達に歌や合奏、お遊戯を発表します。

朝、玄関では年長児が「挨拶係」「プログラム係」「案内係」を、一人ひとりが係としての責任をもって行っています。案内係が「ホールまでご案内します」と

幹事のお母様、「えぶろんぱ」の有志のお父様、園児の保護者の皆さまのご協力により、また、たくさんのご来賓の皆さまにお越しいただき、盛大のうちに生活発表会が終了しました。



未就園児を前にちよっぴり大人になった在園児たち

言い、小さな子どもたちの手を引いて案内をしたり、「一緒に遊ぼうね」と優しく声を掛けたりしています。そして、年長児の「はじめの言葉」で会が始まり、年中・年長児が一緒に歌を歌い、年長児が合奏を発表します。難しい曲に挑戦している姿や、迫力のある

合奏に小さな子どもたちも圧倒されながら真剣に聴いています。また、年少児は、生活発表会で着た衣装を身につけ、舞台の上で踊ります。自分たちより小さな子どもたちに踊りを見せてあげようと張り切ります。年中児も年少児との成長の差を感じる踊りを見せます。

その後は、年長児のリードで一緒にリズム遊びや手遊びをして遊びます。

降園時には、年長児がお土産を渡したり、年中・年少児がテラスでお見送りをします。未就園児にも、幼稚園や園児の様子を見ていただける会になっています。

### 多摩中央幼稚園 「優しいまなざしに 見守られて 敬老の日の集い」

敬老の日について知り、おじいさん、おばあさんに感謝といたわりの気持ちを伝えるように、敬老の日の集いを行っています。園児たちはこの日が近づいてくると、「おじいちゃんとおばあちゃんに来てくれるよ」と話しては笑顔を見せています。遠くに住んでいるなかなか会えない園児もいるので、久しぶりに会えることを心待ちにしていることが分かります。

当日は年長児(松組)による「はじめの言葉」から始まり、歌や合奏を行います。松組は、年長児らしく大きな口を開けて怒鳴らずにきれいな声で歌うことができ

る姿を発表します。どこか懐かしい音色のするサカホーンの演奏と合奏を行います。園児は踊りそっこのけで自分のおじいさん、おばあさんを見つけて手を振る姿が見られます。

発表の後は、各保育室で園児たちとの触れ合いを楽しんでいます。後には、園児たちから感謝の気持ちがたくさん込められたプレゼントを一人ひとりに手渡します。担任に名前を呼ばれて返事をし、プレゼントを受け取る姿に、おじいさん、おばあさんの温かいまなざしと拍手



大好きなおばあちゃんとはしゃぐ園児たち

がありました。優しい大人たちに見守られて過ごしている園児たちの安心して居る姿が心に残っています。教員たちも一緒に成長を見守っていきたいと思います。

### 三田幼稚園 「なごみ会」

三田幼稚園は、七千四百三十人(平成二十三年三月現在)の卒園生を送り出しています。昨年に続き、幼児教育者を目指す卒園生が本園での卒業前実習を希望し(五月三十日・六月十八日の期間)、毎日大変ながら楽しい実習を行いました。さらに、六月には、現在大学四年生の卒園生が遊びに来て近況報告をしてくれました。アイドルを夢見ていた幼いころの笑い話に花が咲きました。

今回は地域に根付く卒園生の活躍を紹介いたします。水野明彦様(昭和四十七



年三月卒園)は、現在、東京都港区三田の Heights に鎮座する、千三百年の歴史を持つ由緒ある御田八幡神社の神職です。地域の平安をお祈りしていただいております。また、本園がある聖徳大学幼児教育専門学校三田校舎の輔祭りでも大変お世話になっております。今年三月にはお嬢様も卒園され、親子二代の卒園生でもいらっしゃいます。

■御田八幡神社の歴史

ご祭神 菅原朝尊  
相殿神 天兒屋根命

【由緒】和銅2(709)年牟佐志国牧岡(港区白金あたり)の地に東国鎮護の神様として鎮祀され、延喜式内稗田神社と伝えられた。

【ホームページアドレス】  
<http://mitahachimann.net/yuisyogaki.html>

三田幼稚園へ来園の際はぜひご参拝ください。

### 八王子中央幼稚園 「和香葉会」

六月四日(土)、卒園生が集まる「和香葉会」が開催されました。小学一年生から六年生まで百七十一名が集まりました。「楽しみにしてました」「久しぶりだね」と言

集まってきたり、高学年になると少し恥ずかしそうにしている姿も見られましたが、懐かしい友達や先生を見つけると、とてもうれしそうにおしゃべりを楽しんでいました。会が始まると、歌を歌ったり、カードゲームやジャンケン等、幼稚園のころ遊んだゲームを楽しみました。特にジャンケン列車や王様ジャンケンでは、チャンピオンになることを目指して、熱くなる姿も見られました。「懐かしい



大興奮の卒園生たち

ね」と言いながら、幼稚園時代を思い出し、楽しく遊んでいました。おやつの中には、友達や先生と思いが詰まっています。上がっている姿が見られ、近況報告をしてくれる卒園生もいました。

### 多摩中央幼稚園 「和香竹会」

六月十九日(土)、子どもたちが楽しみにしていた和香竹会が行われました。今年も中学生も含め、百九十六名の参加がありました。三々五々集まってきた子どもたちは、初めは懐かしい友達と顔を合わせてお互い話し掛け

「先生、来年も来ます」「次は運動会に遊びに来ます」と言って帰る姿や、六年生が「中学生になっても遊びに来ていいですか?」と言う姿に、いつまでも幼稚園が大好きな場所になっていると、教員一同とてもうれしく感じました。卒園生にとっても、楽しかった幼稚園時代に戻れたひとときになったようです。



ゲームでは、卒園生の笑顔がはじけました

ゲーム後はみんなでティータイム。お菓子を食べたりお茶を飲んだりしながら、久々に会った友達という話を盛りに盛りに話をして盛り上がっていました。また、友達だけでなく先生とも幼稚園時代の話をしたり、小学校の話したり、時には先生に「いつか甘えてみたい」と、少しの間でも幼稚園児に戻った子どもたちの姿がありました。卒園生が集まる和香竹会は、今年も子どもたちの元気な笑顔を見ることができ、みんなで楽しめたすてきな会となりました。

平成23年度 後援会支部総会・保護者会 開催日程

Table with columns for date, time, and location for various regional branch meetings and parent meetings.

大学・短期大学部・大学院 同窓会 「香和会」支部パーティー開催のご案内

10月から12月にかけて、全国7支部で楽しい支部パーティーを開催します。...



昨年の甲州・中部・東海支部 & 南関東支部合同パーティー

Table with columns for branch name, date, time, and location for the 'Kawakuni' branch parties.

※注：上記内容は予定であり、一部変更する場合がございます。各支部パーティーの場所等詳細につきましては、準備が整い次第、郵送にてご案内いたします。

【お問い合わせ】 香和会事務局 Tel.047-366-5084(直通)

「東日本大震災義援金」へのご協力のお願い

3月11日に発生いたしました「東日本大震災」においては、東北地方をはじめとした広い地域で、多くの被災者が現在も困難な状況にあります。...

義援金 受け入れ口座名：『聖徳学園東日本大震災義援金 代表 学校法人東京聖徳学園 理事長 川並弘昭』...

募集期間 平成23年 8月31日まで
お問合せ先 学校法人東京聖徳学園 総務課 TEL.047-365-1111(大代) E-mail: soumug@seitoku.ac.jp

※ 義援金は寄附金控除の対象となります。口座振込票の控えと、学園ホームページ掲載の「義援金のお願い」の写しを確定申告時にご提出ください。

学園広報誌聖徳フラッシュをお読みいただきありがとうございます。聖徳フラッシュは皆さまの広報誌です。...

読者の声
ご意見・ご感想の宛て先
(郵送) 〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 東京聖徳学園 「聖徳フラッシュ」係まで
(インターネット) https://www.seitoku.ac.jp/gakuen/toiwase/frmpub

学校法人 東京聖徳学園
〒108-0073 東京都港区三田3-4-28 TEL.03-5476-8811(代)

聖徳フラッシュ 第55号
発行人/川並 弘純 編集/総務課
PRINTED WITH SOY INK
この印刷物は大豆油を主成分とした環境にやさしいインクを使用しています。 11.8.1r (23.5)

入試関係行事のご案内

進路を決定する大切な時期に、ぜひSEITOKUを体験してください。

聖徳大学(女子)・聖徳大学短期大学部(女子) オープンキャンパス 夏のご案内
8月7日[日] 8月20日[土] 9月18日[日] 聖徳大学松戸キャンパス

全国各地で進学相談会開催
「なかなかキャンパスに足を運べない」という方、ぜひ各地で開催している進学相談会にお越しください。

- List of nationwide study consultation events by region: 首都圏, 東北, 関東, 甲信越, 東海, 沖縄.

通信教育部(大学院・大学・短期大学部 共学) お問い合わせ: 047-365-1200(直通)

- 入学説明会日程: 8月21日[日]松戸, 8月27日[土]大阪, 8月28日[日]名古屋, 9月3日[土]東京, 9月4日[日]札幌, 9月4日[日]福岡, 9月25日[日]松戸.

聖徳大学幼児教育専門学校(女子) お問い合わせ: 03-5476-8811(代)

聖徳大学附属女子中学校・高等学校 お問い合わせ: 047-392-8111(代)

オープンスクール 中学校・高等学校 8月20日[土]10:00~
学校説明会 中学校 9月17日[土]10:00~ 高等学校 普通科 9月17日[土]13:30~ 音楽科 9月24日[土]10:00~

聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校 お問い合わせ: 0297-83-8111(代)

聖徳大学附属小学校(共学) お問い合わせ: 047-392-3111(代)

聖徳大学附属幼稚園 お問い合わせ: 047-368-6135(代)

聖徳大学附属第二幼稚園 お問い合わせ: 047-341-6598(代)

聖徳大学附属第三幼稚園 お問い合わせ: 0476-26-3371(代)

聖徳大学附属浦安幼稚園 お問い合わせ: 047-721-8181(代)

聖徳学園三田幼稚園 お問い合わせ: 03-5476-8811(代)

聖徳学園八王子中央幼稚園 お問い合わせ: 042-664-0972(代)

聖徳学園多摩中央幼稚園 お問い合わせ: 042-676-0777(代)

信州春日温泉 かすが荘 長野県佐久市春日2258-1
一般 9,400円~ のところ 学生・教職員 5,400円~ 卒業生・家族・同伴者 8,300円~
TEL.0267-52-2111

施設の詳細等は本学園HPでご覧いただけます。http://www.seitoku.jp/gakuen/house/

周辺の観光スポットのご案内
松本城 (長野県松本市丸の内4-1)
いにしへの時代にタイムスリップ。そんな小旅行はいかがですか。今回は国宝松本城のご紹介です。...